

走行距離連動型保険の 未来はどうか？



“走行距離連動型” 保険ビジネスモデルに対する率直な回答

利用連動型保険制度に商業的な魅力があるのは明らかですが、消費者の懸念は未だに払拭されておらず、それが障害となっています。SBDのレポート“欧州のテレマティクスおよびITS—利用連動型保険をOEテレマティクスにつなげる”では、これまでのプッシュ戦略の短期的な目標を調査し、大規模な市場拡大に結びつく可能性のあるOEテレマティクスサービスとの新たなリンクについて明らかにしています。



このレポートは以下をお手伝いいたします。

- 協力関係が、どのように完全な利用連動型保険のプラットフォームの提供をサポートできるのかを**理解する**
- 利用連動型保険において、最も有効な世界戦略の成功の**鍵を知る**
- 利用連動型制度の契約を妨げる未解決の問題について**認識する**
- OEテレマティクスサービスと利用連動型保険とのリンクにより、このニッチ市場にとって有益な基盤をどのように確立できるかを**知る**

詳細につきましては、e-mail: mkondo@sbdjapan.co.jp もしくは

お電話: 052 253 6203 までお問い合わせください。

保険の支払方法が変わる...

...know what tomorrow brings

走行距離連動型保険に関するSBDの調査では、全世界で20以上ある走行距離連動型保険の現状を概要としてまとめています。こうした現行の保険サービスの評価に加えて、オーストリア・フランス・イギリス・アメリカで今年導入された新しい保険制度の詳細も本書で紹介しています。

この保険業界の特徴として、目的や複雑性が大きく変化する保険制度に対し多種多様の技術オプションが用いられるということが挙げられますが、本書では、こうした保険業界の非常に複雑な性質について詳細に説明しています。保険制度としては、年に一度走行距離データを回収するというシンプルなものから、時間帯・スピード・距離・そして走行した道路の種類をデータとして動的に送信する高度なシステムを用いるものまで多種多様です。

業界内で走行距離連動型保険に対する強い関心があるにも関わらず、いまだ商業的成功には至っていません。SBDは本書で、このような結果に至っている原因や、保険会社・自動車メーカー・テレマティクスサービスプロバイダーが、イタリアでの走行距離連動型保険市場の成功例をどう活かせるかという重要な情報を提供しています。

本書は、幅広いテレマティクスサービスの一環として走行距離連動型保険を提案するために、自動車メーカーがどのようにして保険会社やサービスプロバイダー、携帯電話通信事業と協力関係を確立し始めているかについて解説します。この幅広いサービスが、この近代型保険が将来成功するための重要な鍵となるでしょう。

走行距離連動型保険の対象と方針



目次

1. 要旨	
1.1 はじめに	
1.2 結論	
1.3 明るい未来	
2. 走行距離連動型保険とは何か?	
2.1 はじめに	
2.1.1 マーケティング	
2.2 スキームのオプション	
2.3 技術	
2.3.1 標準	
3. 市場概要	
3.1 オーストリア	
3.2 ベルギー	
3.3 カナダ	
3.4 フランス	
3.5 ドイツ	
3.6 アイルランド	
3.7 イスラエル	
3.8 イタリア	
3.9 日本	
3.10 オランダ	
3.11 南アフリカ共和国	
3.12 スペイン	
3.13 英国	
3.14 アメリカ合衆国	
4. OE テレマティクスと走行距離連動型保険	
4.1 Fiat Blue & Me	
5. 成功要因	
5.1 短期	
5.2 中期	
5.3 長期	
図一覧	
図1	走行距離連動型保険の成功に必要な要因
図2	走行距離連動型保険スキームに対する障害
図3	走行距離連動型保険監視基準
図4	走行距離連動型保険スキームの例
図5	Fiat Blue & Me サービス
図6	Fiat Blue & Me はビジネスアーキテクチャを守る
図7	走行距離連動型保険サービスの未解決問題

走行距離連動型保険の未来の成功を作り出す...

...本書の著者について



スティーブン・ロングデン – テレマティクス及びITSスペシャリスト

ウェストミンスター大学において交通計画・管理研究科の修士課程を修了後、『The Intelligent Highway』誌の編集者を務める。カーテレマティクス及びナビゲーションを専門とし、新興市場におけるテレマティクス・ナビゲーション動向の第一人者である。

本書のご購入形態:

- | | |
|-----------------|---------------------|
| マルチユーザ (製本+PDF) | - ¥250,000 (日本語翻訳付) |
| | - ¥215,000 (英語版) |
| シングルユーザ (製本のみ) | - ¥200,000 (日本語翻訳付) |
| | - ¥165,000 (英語版) |

レポートの詳細についてのご質問や、その他のご要望につきましては、

下記までお気軽にお問い合わせください。

Email: mkondo@sbdjapan.co.jp

Tel: 052 253 6203

このレポートを購入したお客様は、次のレポートも購入しています



SBDの**自動車追跡システム**の最新レポートでは、各国の保険業界がとっている立場について、詳細な市場分析および技術分析を行なっています。

また、追跡システムを搭載した車両の保険料を減額することに対する消費者の要望と、保険会社の意思の両方に影響を与える今後の展開も分析しています。

自動車追跡システムの市場分析

市場分析は、**車両メーカー様**や**防犯システムサプライヤー様**が盗難車両追跡・回収システムの市場を理解される際に有用です。

自動車追跡システムの技術分析

技術分析は、欧州各国における技術要件に対応できるよう、設計に携わる方のお役にたてる内容となっております。

